

SOLAR HEAT HIGH-REFLECTIVITY PAINTS SERIES

環境配慮形遮熱塗料

太陽熱高反射率塗料シリーズ

屋根用高耐候性水系反応硬化形
アクリルシリコン樹脂塗料
クールトップ Si

高耐候性弱溶剤 1液形
アクリルシリコン樹脂塗料
1液ワイドシリコン遮熱

壁用高耐候性水系反応硬化形
アクリルシリコン樹脂塗料
カベクール Si

高耐候性弱溶剤 2液形
アクリルシリコン樹脂塗料
ワイドシリコン遮熱

歩道用水系塗料
クールトップ ホドウ

水性・弱溶剤

- 遮熱効果
- 高耐候性
- 低汚染性
- 防かび性
- 防藻性

There is a Color Palette suitable for use.
Solar Heat High-Reflectivity Paint series contributes to energy saving.

例えば子供をおもう親のように、
自然に環境を気遣っていきたい

Eco Life

ヒートアイランド現象や地球温暖化は、私たちの生活に多大な影響が及ぶと考えられています。私たちは色々なメディアを通じ、実際に起こっている数々の被害を目にすることにより、その問題の重大さに改めて気づかれます。当社は、遮熱効果による建物内部の温度上昇を緩和し、冷房用エネルギーの節約に有効な太陽熱高反射率塗料「クールトップ」シリーズを1979年に上市してから、長年にわたり実績を積み上げてきました。今、ヒートアイランド現象、更には地球温暖化への対策として太陽熱高反射率塗料が注目される中、シリーズをより充実させ、省エネルギーに貢献する塗料を提案いたします。

特長

1 高い遮熱効果

高反射性の顔料とセラミックパルーンの相乗効果で、太陽光の中で熱線としての性質を持つ赤外線を反射することにより、塗装表面温度の上昇を抑制し、室内に伝わる熱を削減します。

■クールトップ Si 省エネルギー効果

下記の物件に対し、太陽熱高反射率塗料を施工したときの遮熱効果を熱買流量からの計算によりシミュレーションしました。

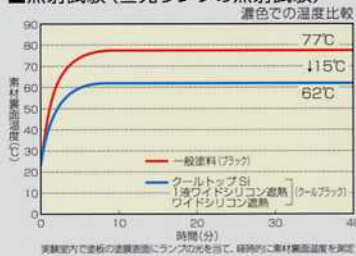
◇物件：戸建住宅 ◇所在地：名古屋市 ◇屋根面積(敷地面積)「㎡」：100
◇壁面積(東面)「㎡」：30 ◇壁面積(南面)「㎡」：30 ◇屋根下地：鋼板
◇壁面積(西面)「㎡」：30 ◇壁面積(北面)「㎡」：30 ◇壁面下地：ALC板

- 1kwh 当たりの電気料金を 20 円として計算。
- 夏期最大日射量が 1 日平均 4 時間として試算。
- CO₂ 換算削減量は、1kwh=0.378(kgCO₂/kwh)※として試算。
※平成12年度実行有定規程算出係数による

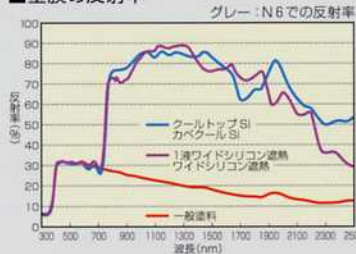
室内温度差 -6.3℃ 削減電気量/月 -72kWh CO₂換算削減量/月 30kg
電気料金削減/月 1,440円

(計算結果に関しては、概算による理論値であり、保証値ではありません。)

■照射試験(昼光ランプの照射試験)



■塗膜の反射率



2 高耐候性・低汚染性

アクリルシリコン樹脂を使用することにより、強靱な塗膜が形成されるため耐久性、耐汚染性に優れ、長期にわたり建物を保護すると共に汚染による遮熱効果の低下を抑制します。

3 防かび・防藻性

強力な防かび、防藻剤により微生物の発生を抑えます。

用途

クールトップ Si 新生瓦・鋼板屋根など

カベクール Si 外壁 [コンクリート・モルタル・PCパネル・ALCパネル・スレート 産業系サイディングボード・鋼板・鋼材・アルミ・ステンレスなど]

1液ワイドシリコン遮熱 新生瓦・鋼板屋根

ワイドシリコン遮熱 外壁 [コンクリート・モルタル・PCパネル・ALCパネル・スレート 産業系サイディングボード・鋼板・鋼材・アルミ・ステンレスなど]

クールトップ ホドウ 歩道・広場など

容量

商品名	容量	系統
クールトップ Si	16kg	水系
カベクール Si	16kg	水系
1液ワイドシリコン遮熱	15kg	溶剤系
ワイドシリコン遮熱	14kgセット	溶剤系
シャオンクール	18kg	水系

クールトップ ホドウ

標準色



ライトグレー



ブラウン



クリーム



ブルー



グリーン

■お願い

見本は紙に塗装しています。下地の状態や施工条件によって、色調・パターンが、多少見本と異なります。ご了承ください。

屋根用カラー

標準色

■1液ワイドシリコン遮熱 ■ワイドシリコン遮熱



オリーブグリーン



ダークグレー



ニューチョコレート



チョコレート



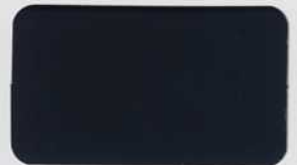
コバルトブルー



オーシャンブルー



スレートグレー



クールブラック

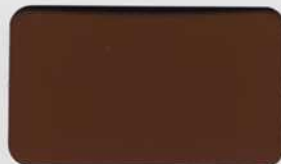
■クールトップ Si



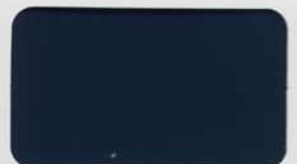
クールグリーン



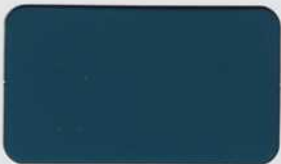
クールダーク



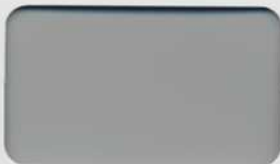
クールブラウン



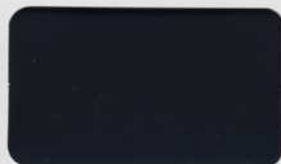
クールネイビー



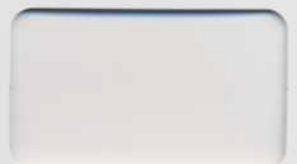
クールブルー



クールグレー



クールブラック



ホワイト
*クールトップ Si スーパー

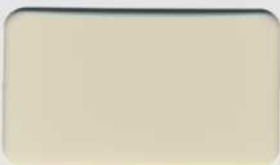
壁用カラー

標準色

■カベクール Si ■1液ワイドシリコン遮熱 ■ワイドシリコン遮熱



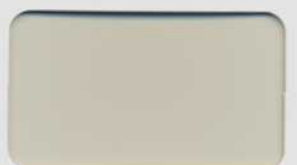
↑A001



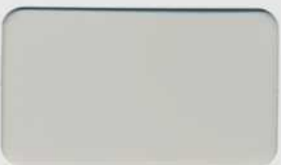
↑A500



↑A303



↑A602



↑A002



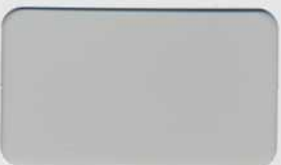
↑A352



↑A350



↑A607



↑A005



↑A403



↑A358



↑A428

- ・各製品とも、標準色設定のみとなります。
- ・色見本は紙に塗装していますので、実際の仕上りと色・つやが多少異なります。ご了承ください。
- ・色によって材料費が割高になるものや調色扱いとなるものがありますのでご了承ください。
- ・広い面積に塗装した場合、実際の色が見本帳の色よりも多少明るく見える場合があります。
- ・太陽熱高反射率塗料を塗装する場合、特殊な調色を行っておりますので、塗付量が少ない場合、色相が変化して見えたり、隠ぺい不足などが生じますので、標準塗装仕様をお守りください。

標準塗装仕様

■ クールトップ Si

■ 屋根 ■

■ 新生瓦 ■

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	・表面のぜい弱部、劣化している既存塗膜、こみ、汚れなどを高圧水洗で除去する。 (板と板の間隙は入念に清掃する。) ・素地は十分に乾燥させる。					
下塗り	水性ベスコロ下塗	100	0.15~0.20	1	2時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り
上塗り	クールトップ Si 清 水	100 0~10	0.12~0.15	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り

□下塗りにはワイドシーラー EPO、プライマー U も使用できます。
 □十分な高圧洗浄ができない場合、素地の劣化が著しい場合は、水性ベスコロ下塗の使用は避けてください。
 □下地調整塗材にレベリングカチオンベースが使用できます。レベリング弾性ベースは使用できません。
 □中塗りにシャオンクールを使用すると更に高い遮熱・断熱効果が得られます。
 □水切り部で上下の板が塗料で付着している場合は、皮スキなどで剥離してください。

■ 銅板屋根 ■

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	・銅板の発錆部は、サンダー、ワイヤブラシ、ペーパーなどを用いて入念に除去する。 ・花咲き、チョーキングなどの劣化塗膜は、皮スキ、サンダー、ブラシで入念に除去する。 ・油類類は、シンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は、高圧洗浄機による水洗いで洗浄する。 ・素地は十分に乾燥させる。					
新設	スーパープライマー AD グレー	100	0.12~0.16	1	4時間以上 7日以内	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り
下塗り	エポマイルド 白 (既存塗膜がある場合)	100	0.12~0.16	1~2	16時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り
上塗り	クールトップ Si 清 水	100 0~10	0.12~0.15	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り

□フックボルト部、銅板の折り曲げ及び接合部などで、スーパープライマー AD、エポマイルドの膜厚が薄くならないように増塗りしてください。
 □塗り替えの場合、下塗りにエポマイルドを使用してください。
 □下塗りとして必ずストップも使用できます。
 □中塗りにシャオンクールを使用すると更に高い遮熱・断熱効果が得られます。
 □塩化ビニル被覆銅板の場合は、下塗りにリフンを 2 回塗りしてください。

■ カベクール Si

■ 外壁 ■

■ セメント系素地 (コンクリート・モルタル・PC部材・ALCパネル・窯業系サイディングボードなど) ■

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	・素地は十分に乾燥させる。(含水率 10% 以下、pH10 以下) ・素地のレイタンス、エフロレシンス、汚れは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは 予めラフトンファイラーなどの仕上塗材用下地調整塗材にて補修する。					
下塗り	サミプラ 清 水	100 0~5	0.08~0.10	1	3時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り
上塗り	カベクール Si 清 水	100 5~15	0.15~0.20	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り

□下塗りには、サミプラホワイト、カチオンシーラー EPO、ワイドシーラー EPO も使用できます。
 □塗り替えの場合、下地の状態により、下塗りの省略ができます。
 □塗り替えの場合、リメイクプラ・リメイクシーラー EPO を用いる仕様も可能です。
 □中塗りにシャオンクールを使用すると更に高い遮熱・断熱効果が得られます。

■ 一 防音・断熱仕様 ■

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	・素地は十分に乾燥させる。(含水率 10% 以下、pH10 以下) ・素地のレイタンス、エフロレシンス、汚れは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは 予めラフトンファイラーなどの仕上塗材用下地調整塗材にて補修する。					
下塗り	サミプラ 清 水	100 0~5	0.08~0.10	1	3時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り
中塗り	シャオンクール 清 水	100 0~10	0.25~0.30	2	(工程内) 4時間以上 (工程間) 16時間以上	はけ塗り パターンローラー塗り(縦目) エアレス塗り
上塗り	カベクール Si 清 水	100 5~15	0.15~0.20	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り

□シャオンクールのエアレス塗りでは、0.5kg/m² (1 回塗り) が可能です。

■ 金属系素地 (鉄・亜鉛鉄板・アルミニウム・ステンレスなど) ■

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	・鋼板の発錆部は、サンダー、ワイヤブラシ、ペーパーなどを用いて入念に削除する。 ・花咲き、チョーキングなどの劣化塗膜は、皮スキ、サンダー、ブラシで入念に除去する。 ・油類類は、シンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は、高圧洗浄機による水洗いで洗浄する。 ・素地は十分に乾燥させる。					
下塗り	エポマイルド 白	100	0.12~0.16	1	16時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り
上塗り	カベクール Si 清 水	100 5~15	0.15~0.20	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り

□中塗りにシャオンクールを使用すると更に高い遮熱・断熱効果が得られます。
 □塩化ビニル被覆鋼板の場合は、下塗りにリフンを 2 回塗りしてください。
 □塗り替えの場合、鉄部の露出がなく、既存塗膜を剥離して貯蔵できる場合は、下塗りの省略ができます。
 □鋼板の形状、鉄部の露出がなく、既存塗膜を剥離して貯蔵できる場合は、下塗りの省略ができます。
 □鋼板の形状、鉄部の露出がなく、既存塗膜を剥離して貯蔵できる場合は、下塗りの省略ができます。

■ 取扱い上の注意事項 ■

●製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読みいただき正しく安全にご使用ください。特に引火及び有害の危険性がある製品は、十分注意し、安全対策を行ってください。
 ●詳細な内容が必要となるときは、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。



営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4 ☎059-397-2187 FAX059-397-6191
 技術本部 〒510-0851 三重県四日市市塩浜町 ☎059-346-1116 FAX059-346-4585
 札幌支店 ☎0133-60-6311 東京支店 ☎03-5661-2211 名古屋支店 ☎052-411-1255
 大阪支店 ☎072-862-1601 広島支店 ☎082-277-1116 四国支店 ☎0877-24-4621
 九州支店 ☎092-938-0071

■ 1 液ワイドシリコン遮熱・ワイドシリコン遮熱

■ 新生瓦 ■

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	・表面のぜい弱部、劣化している既存塗膜、こみ、汚れなどを高圧水洗で除去する。 (板と板の間隙は入念に清掃する。) ・素地は十分に乾燥させる。					
下塗り	ワイドシーラー EPO	100	0.10~0.17	1	3時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り
上塗り	1 液ワイドシリコン遮熱 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り

□中塗りにシャオンクールを使用すると更に高い遮熱・断熱効果が得られます。
 □水切り部で上下の板が塗料で付着している場合は、皮スキなどで剥離してください。

■ 金属系素地 (折板・瓦棟・鉄板・亜鉛鉄板・アルミニウム・ステンレスなど) ■

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	・鋼板の発錆部は、サンダー、ワイヤブラシ、ペーパーなどを用いて入念に除去する。 ・花咲き、チョーキングなどの劣化塗膜は、皮スキ、サンダー、ブラシで入念に除去する。 ・油類類は、シンナーで拭き取る。 ・素地表面の汚染付着物は、高圧洗浄機による水洗いで洗浄する。 ・素地は十分に乾燥させる。					
下塗り	エポマイルド 白	100	0.12~0.16	1	※3時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り
上塗り	1 液ワイドシリコン遮熱 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り

※屋根に塗装する場合、塗装間隔時間は 16 時間以上 (23℃) 取ってください。
 □塗り替えの場合、鉄部の露出がなく、既存塗膜を剥離して貯蔵できる場合は、下塗りの省略ができます。
 □下塗りとして必ずストップ、エポプラも使用できます。
 □事前に既存塗膜の溶解やリフティングが発生しないことを確認してください。
 □中塗りにシャオンクールを使用すると更に高い遮熱・断熱効果が得られます。
 □塩化ビニル被覆鋼板の場合は、下塗りにリフンを 2 回塗りしてください。

■ セメント系素地 (コンクリート・モルタル・PC部材・ALCパネル・窯業系サイディングボードなど) ■

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	・素地は十分に乾燥させる。(含水率 10% 以下、pH10 以下) ・素地のレイタンス、エフロレシンス、汚れは除去し、巣穴、不陸、目違いなどは 予めラフトンファイラーなどの仕上塗材用下地調整塗材にて補修する。					
下塗り	ワイドシーラー EPO	100	0.10~0.17	1	3時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り
上塗り	1 液ワイドシリコン遮熱 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り

□塗り替えの場合、下地の状態により、下塗りの省略ができます。
 □塗り替えの場合、リメイクプラ・リメイクシーラー EPO を用いる仕様も可能です。
 □中塗りにシャオンクールを使用すると更に高い遮熱・断熱効果が得られます。

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	・路面のぜい弱部分や砂埃などはエアブローで清掃し十分に乾燥させ清潔な面とする。 ・コンクリート・モルタル面のクラック発生部はレベリング剤などのポリマーセメント系モルタルを 用いて補修を行った後に塗装してください。					
下塗り	ワイドシーラー EPO	100	0.10~0.17	1	3時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り
上塗り	1 液ワイドシリコン遮熱 塗料用シンナー	100 5~15	0.12~0.16	2	(工程内) 4時間以上 (最終養生) 24時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り

□新設のアスファルト以外の部位では、下塗りにアスファルトシーラーも使用できます。
 □新設のアスファルト面は、打設後十分な養生を行い油分などがなくなってから、プライド防止のため必ずアルマシーラーを
塗布してください。(下地の状況によっては、プライドを防止できない場合があります。)
 □アルマシーラーは必ず所定の割合で主剤と硬化剤を混合し、ハンドミキサー等でよくかくはんしてください。
 定められた割合で混合されない場合や、かくはん不足は塗膜が剥離する原因となります。

■ クールトップ ホドウ

工程	塗料	調合 (重量比)	標準塗付量 (kg/m ² /回)	塗り回数	塗装間隔 (23℃)	塗装方法
素地調整	・路面のぜい弱部分や砂埃などはエアブローで清掃し十分に乾燥させ清潔な面とする。 ・コンクリート・モルタル面のクラック発生部はレベリング剤などのポリマーセメント系モルタルを 用いて補修を行った後に塗装してください。					
下塗り	スズカアルマシーラー (主剤:硬化剤=10:3.5) (無希釈)	100 (無希釈)	0.10~0.15	1	18時間以上	はけ塗り ウルローラー塗り エアレス塗り
中塗り	クールトップ ホドウ 中塗り用 清 水	100 0~5	0.6~1.0	1	4時間以上 7日以内	圧送ガン ウルローラー(中毛) パターンローラー(縦目)
上塗り	クールトップ ホドウ 清 水	100 0~5	0.4~0.6	1	(最終養生) 24時間以上	圧送ガン ウルローラー(中毛) パターンローラー(縦目)

□新設のアスファルト以外の部位では、下塗りにアスファルトシーラーも使用できます。
 □新設のアスファルト面は、打設後十分な養生を行い油分などがなくなってから、プライド防止のため必ずアルマシーラーを
塗布してください。(下地の状況によっては、プライドを防止できない場合があります。)
 □アルマシーラーは必ず所定の割合で主剤と硬化剤を混合し、ハンドミキサー等でよくかくはんしてください。
 定められた割合で混合されない場合や、かくはん不足は塗膜が剥離する原因となります。

■ 塗装上の注意事項 ■

- 素地は十分に乾燥させてください。(含水率 10% 以下、pH10 以下)
- 気温 5℃以下、湿度 85% 以上及び結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- 強風時や降雨・降雪のおそれのある場合は塗装を避けてください。
- 吹付塗装の場合は、飛散防止の養生など十分に注意してください。
- 使用前に十分かくはんし、均一にしてから塗装してください。
- うすめずばは、たるみ、隠れ不足、つや不良、色相の変化などを生じますのでご注意ください。
- 仕様の各数値は、標準的な数値です。素地の形状や状態、塗装方法・環境などにご注意増減することがあります。
- 各工程の塗装間隔及び最終養生は所定の時間を厳守してください。
- 上塗りの最終養生時間 (24 時間以上) は厳守してください。乾燥課程で雨がかりますと、本来の塗膜性能が得られませんので、養生シートなどで適切な処置をしてください。
- シーリング面に塗装する場合は、予めラフトン逆プライマーを塗布してください。
(ポリサルファイト系シーリングの場合は、2 回塗りしてください。)
- 尚、シリコン系及びチル系シーリングの場合は、塗装を避けてください。
- 詳細な塗装上の注意事項は、各製品のカタログを参照してください。
- 見本板に記載されていない素地や仕様で塗装される場合は、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所にお問い合わせください。